

白色マルチ敷設による チャノキイロアザミウマの物理的防除

果樹試験場

研究のねらい

環境に優しく高品質なカンキツ生産を実証するために、白色透湿生シートのマルチによるチャノキイロアザミウマの防除効果を検討し、薬剤使用回数の削減を図ります。

研究の成果

1. 黄色粘着トラップに飛来するチャノキイロアザミウマ数は、無処理区（雑草繁茂）では収穫が終わるまで多く誘殺されますが、白色透湿生シートのマルチ敷設によって極めて少なくなります（図1）。
2. 果実被害は無処理区で9月上旬から発生し、その後やや増加しますが、白色透湿生シートのマルチ敷設によって全くなくなります（表1）。
3. ミカンハダニが少発生の条件下では、白色透湿生シートのマルチ敷設によりミカンハダニが多発して問題になることはありません（表省略）。
4. 黒点病（表省略）やミカンハモグリガ（表省略）等の害虫の発生は、白色透湿生シートのマルチ敷設により多くなることはありません。

成果の活用面・留意点

1. チャノキイロアザミウマの被害を軽減できるため、薬剤使用回数を削減する省農薬栽培やエコ農業において有望な技術です。
2. 白色透湿生シートのマルチにより飛来を忌避させて効果が現れるため、密植栽培では効果が低くなりますので間伐等により栽植本数を減らす必要があります。

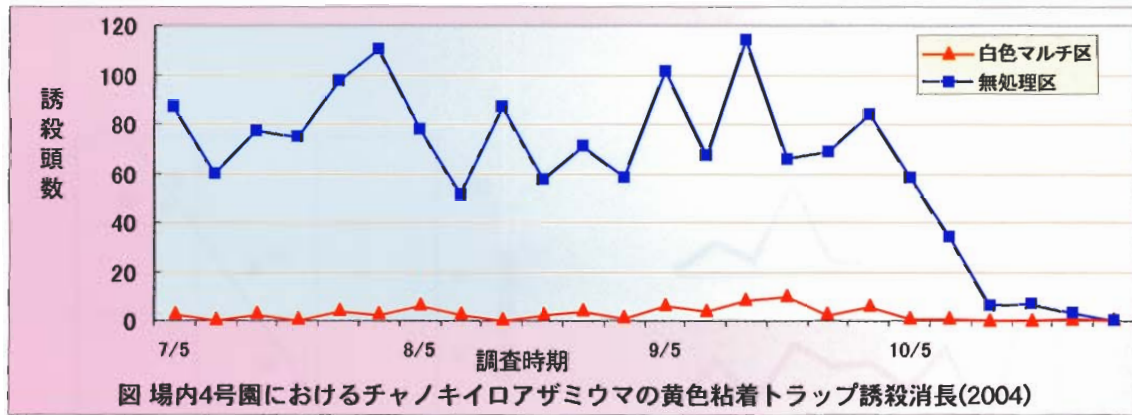


表1 白色マルチのチャノキイロアザミウマに対する果実被害への効果(2004)

月 旬	白色マルチ区				無処理区				
	果頂部		果梗部		果頂部		果梗部		
	被害果率(%)	被害度	被害果率(%)	被害度	被害果率(%)	被害度	被害果率(%)	被害度	
7	上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8	上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9	上	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	1.7	0.0	0.0
	中	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	2.0	0.0	0.0
	下	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	2.7	0.0	0.0
10	上	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	3.0	0.0	0.0